

1 社会・治安情勢

当国では本年4月以来発生している不審火、放火未遂、高圧送電線鉄塔破壊等の事案、特に7月4日のルサカシティマーケットで発生した大規模不審火災を受け、準非常事態宣言を宣言した。現在も効力は有効なままであり、警察による治安の維持向上を進めているが、大きな改善は見られない。

また当国では在留邦人が多数居住するルサカ市を取り囲むようにコンパウンド（貧困層地区）が存在し、殺人事件などの凶悪犯罪が発生しやすい傾向にある。貧困率は依然として高く、特に首都ルサカ市、リビングストーン市観光地区、コッパーベルト州の主要都市等を中心に失業者やエイズ孤児等が溢れており、貧困に起因する犯罪が後を絶たない。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 在留邦人が多数居住し比較的安全とされているルサカ市においても銃器を使用した複数犯による住居侵入強盗、車両強盗、路上強盗が断続的に発生しており、特に、夕方から深夜にかけての犯行が多い傾向である。また、日中であっても人の集まる所では、スリや置き引きなどが発生している。

(2) 邦人被害事案

7月12日朝、北部州カサマのロッジにて宿泊中に朝食終了後に部屋に戻ったところ、部屋の鍵が開いており、部屋の置いていたバッグの中から現金2,300クワチャ（米貨230ドル相当）が盗まれた。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 7月15日、コッパーベルト州キトエにおいて、36歳女性が8人の男性に強姦される事件が発生した。

イ 7月27日、ルサカ市ミーンウッド地区において、2名の女性が銃を所持した賊に襲われ射殺される事件が発生した。

ウ 8月17日、南部州リビングストンの教会において、武装した5人の賊により、住居強盗が発生し現金5,000クワチャ（米貨500ドル相当）及び電化製品が盗まれた。

エ 9月15日早朝、ルサカ市Bwachaコンパウンドにて24歳男性が身代金目的で誘拐される事件が発生した。

オ 9月29日 午前01:30頃ルサカ市 Chibolya コンパウンドにて違法ドラッグ使用の疑いで134人が警察当局に一斉逮捕された。

3 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況
当該事件の発生は認知していない。

5 日本企業の安全に関する諸問題
関連情報なし